

令和6年度 指定管理者年度総合評価表

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

作成日	令和7年6月4日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市白浜生活センター	
所在地	八戸市大字鮫町字浜道通20番地6	
施設概要	設置目的：農村地域の生活改善を図るとともに、健全な地域社会の形成に寄与する。 施設規模：敷地面積 1,109.00㎡ 延床面積 244.57㎡ 木造平屋建	
指定管理者	名称	白浜町内会
	代表者	会長 磯島 功
	所在地	八戸市大字鮫町字石株10
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	(1) 施設の利用に関する業務 (2) 施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	農林水産部 農林畜産課 農林環境グループ	
	電話	0178-43-9052 (直通)
	e-mail	norin@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	管理運営に当たり、地域住民の施設として気軽に利用できるように、開かれた施設の運営を行った。又、施設の使用目的を適切に把握し、市担当者へ報告等、安全安心を心がけ、施設運営に務めた。
今後の目標	これまで同様に地域住民が安全安心して利用できるように施設及び設備の維持管理に努める。

■市(所管課)の総合評価

評価	施設の設置目的を十分に踏まえ、管理運営に当たっては関連法令をはじめとした管理基準を遵守し、地域住民が平等に施設を利用できるよう適切に業務を行っていた。 また、利用者の安全及び快適な施設環境を確保するために、施設・設備等の点検及び修繕並びに日常清掃が適切に行われていた。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	施設利用の要望に合わせて開館し、地域住民が利用しやすいよう努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外

従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分にできていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、事業報告書、その他の報告等が適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	前期（令和元年度～5年度）に引き続き、今期（令和6年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設の使用許可が適切に行われていた。
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務の必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
利用状況	—	指定管理者の適切な運営によって地域住民のコミュニティ施設として利用され、利用者数が前年度を上回った。 5年度 373人 6年度 414人（前年度比 111%） ※地域住民や特定の利用者を対象とした施設であることから評価の対象外。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、地元町内会で徴する維持管理協力金、町内会費等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者の声を直に聞ける環境であった。
施設概要(利用方法)の周知	○	地域住民のためのコミュニティ施設として、適切に利用方法を周知していた。

苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等があれば、速やかに対応する体制になっていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規定が整備され、遵守されていた。 (運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規定が整備され、遵守されていた。 (運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者が不便なく施設を利用できるように対応していた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	会員及び利用者により、施設の設備等を良好な状態に維持管理するための必要な点検の他、使用後の館内及び器具の管理を徹底して行った。 暴風雨雪時及び地震時には、雨漏り等の点検を行った。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	年間事業報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	3回	5月2日	担当	施設調査、点検
		7月5日	担当	施設調査、点検
		11月27日	GL、担当	基本方針に基づく実地調査
	実施結果			
	<ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り防止のための屋根修繕及び建物基礎鉄筋露出箇所の修繕を実施した。 ・施設の調査点検の結果、施設に異常がないことを確認した。 			

※GL：グループリーダー